

2022年4月 JICA 月次レポート

生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業

<活動状況>

1. 月経時の衛生管理、性教育、ジェンダー問題についてのブックレット（冊子）の仕上げ
2. 教員用の月経時の衛生管理トレーニングマニュアルの作成（下書き）
3. ラジオコマーシャルの翻訳（ルガンダ語から英語へ）
4. Happy-Pad プロモーションセンター改修の仕上げ作業
5. 学校の衛生施設の修繕の進捗管理

1. 月経時の衛生管理、性教育、ジェンダー問題についてのブックレット（冊子）の仕上げ

保健省の主な関係者や Global Bridge Network (GBN)、様々な専門家との協議を経て、ブックレットの仕上げに向けた編集作業を行った。専門家から出た意見を反映させた後、5月の配布に向けて印刷を開始した。

ブックレットの表紙と目次



Contents	
Acknowledgement.....	3
Background.....	4
Section 1: Menstrual Hygiene Management	7
Menstrual Hygiene Management statistics.....	8
Menstruation - the basics.....	9
Menstruation cycle.....	10
Menstrual hygiene challenges.....	13
Introducing the happy pad: re-usable sanitary pad.....	18
How to make a re-usable sanitary pad.....	20
How to manage menstruation.....	21
How to manage menstruation pain and mood swings.....	23
Involving men and boys in MHM.....	25
Voices from the children.....	26
Section 2: Gender Awareness	27
What is gender?.....	28
Gender equality.....	29
Why gender equality matters.....	30
How does gender inequality affect women.....	30
How to fix gender inequality issue?.....	30
Section 3: Sexual and Reproductive Health	32
What is SRH?.....	33
Why SRH is important.....	36
Sexual and reproductive health rights.....	37
Taking care of your reproductive health.....	39
Where to go for SRH services?.....	41
Why is sexual health important for boys and men.....	45
Abortion.....	46
Frequently Asked Questions.....	49
References.....	50

2. 教員用の月経時の衛生管理トレーニングマニュアルの作成（下書き）

教員用のトレーニングマニュアル作成にあたって関連資料を特定し、まとめる作業を行った。マニュアルはまもなく完成予定である。プロジェクトチームは教員をトレーニングする際にこれを使用し、また教員もこのマニュアルに従って学校で月経時の衛生管理についての指導を行う。

3. ラジオコマーシャルの翻訳（ルガンダ語から英語へ）

スポットメッセージ（コマーシャル）は事業地域の言語であるルガンダ語のみで放送されていたが、ルガンダ語を話さないリスナーたちにもメッセージが伝わるように英語に翻訳した。

<スポットメッセージ（コマーシャル）>

ウガンダの皆さん、月経時の衛生管理の問題が原因で女子生徒が平均して毎月4日間学校を欠席しているという事実をご存じですか。再利用可能な生理用ナプキンを用いることで、家庭でも学校でも生理期間中を快適に過ごせる環境を整え、優先的に女子の教育改善に取り組んでいくことを奨励しています。

SORAK は学校に対し支援を提供しています。女子生徒がナプキンを交換し、洗浄できる場である更衣室や洗面所はどの学校にも確実に設置していくべきであることを学校責任者の方々に提案します。以上、SORAK 並びに *Global Bridge Network-Japan* からのメッセージでした。

4. Happy-Pad プロモーションセンター改修の仕上げ作業





Katalemwa secondary School の敷地内に位置する Happy-Pad プロモーションセンターは内装に必要な工事が完了し、利用開始の準備が整ったため一般に向けてオープンした。外壁の塗装及び看板の設置は 5 月を予定している。

技術担当の Ms. Restetuta Nabirye が運営の責任者かつ全体的な管理者となる。彼女はトレーニングの指揮を執り、布ナプキン生産に向けて裁縫チームを管理、ナプキン販売のマーケティングも行う。また、必要な人材の確保及び研修が確実に出来るよう、ワキソ県のコミュニティと連携を図る役割も担う。

需要に合わせてテーラーを増員予定ではあるが、まずは 1 人のみを配置している。プロモーションセンターは月曜～金曜、午前 8:30 から午後 17:00 まで、様々なニーズを満たすように組まれたプログラムに沿って終日運営する。

以下はプロモーションセンターの宣伝方法である。

- 1- 生徒を通し、保護者や訓練生となりうる方たちとコミュニケーションを図る
- 2- 生徒や地域の人々へ向けリーフレットの配布（現在 9000 部印刷を進めており、継続して配布していく予定である。）
- 3- メガホンラジオでの定期的な告知
- 4- ラジオでの定期的な告知
- 5- 教会や学校を訪問し、プロモーションセンターの情報を提供する

	
<p>プロモーションセンターの外観</p>	<p>別の角度から見た塗装前のプロモーションセンター</p>
	
<p>プロモーションセンター内部の様子</p>	<p>プロモーションセンターにてナプキン作りをしている</p>

5. 学校の衛生施設の修繕の進捗管理

対象地域 3 県全てのプログラムチームは対象校全校を訪問し、また電話によって、施設の修繕工事の進捗状況を確認した。以下の学校を除いてほとんどの学校が修繕工事を終えていた。

ムベンデ県： 9 校が工事を完了していた。Christ King 小学校では資金が更に必要なため、5 月 9 日に学校が開始した後、保護者から寄付を募り工事を継続予定である。

ブタンバラ県： 8 校が工事を終えていた。Nkokoma 小学校は洗面所と更衣室の建設がまだ途中であり、Kayenje 小学校は洗面所にドアを取り付けたが、雨水浸透ますの工事が完了していない。

ワキソ県： 7 校が工事を終えていた。Ssanga 小学校は 5 月 9 日の新学期開始後に資金を集める予定である。Jinja Karoli 小学校は学校運営委員との協議の後、5 月 9 日以降に施設の修繕工事を開始する。これは資金を衛生施設に使う代わりに追加のミシン購入に充てるという提案が却下されたためである。また、これまでの活動に応じてこなかった Kigoogwa 小学校の代わりに、別の 1 校が新たに 5 月から追加となる。

<事業による効果的な影響およびもたらした変化>

プロジェクトチームはブックレットを作成する過程で月経時の衛生管理やジェンダー問題、性教育に関する様々な文献に目を通し、知識量が増えた。これは今後活動予定である教員のトレーニングや地域の人々に啓発を行っていく上で非常に役立つと考えられる。

<直面した問題>

Happy-Pad プロモーションセンターの工事は、床張りや石膏塗装に加え、窓やドアの取り付けが必要であったために多くの時間と費用が必要となり開設が予定よりも遅れてしまった。

<教訓>

- ほとんどの対象校がトイレ、洗面所、更衣室などの施設においてすばらしい改善をしたことから、成果が出ていることがわかる。
- 施設の工事完了に必要な追加資金を各校で調達できたことから、学校関係者たちはなすべきことを提示し誘導すれば応じてくれる。ブタンバラ県の Butalunga 小学校のように洗面所にタイルを敷くために更なる努力をした学校や、ワキソ県の Lwadda CU 小学校のようにトイレの状態を改善するために鉄板を購入した学校もあった。

<関係者のコメント>



「私はこの事業を気に入りました。貧しい女の子たちが必要としているナプキンの課題に取り組んでいて素晴らしいと思います。使い捨てナプキンを含む全ての商品価格が高騰しているため、ナプキン購入代を貯蓄に回せることは親にとっても喜ばしいことだと考えます。」

プロモーションセンターの IT スタッフ

Ms. Restetuta Nabirye